

環境調査結果のお知らせ

令和6年2月22日10時からの環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で14 cells/mL確認されました。

現在、野見湾・須崎湾では麻痺性貝毒が発生しています。貝毒原因プランクトンが減少しても貝の体内には毒が蓄積されていますので、貝毒検査により安全性が確認されるまでは当該海域産の二枚貝類の出荷、販売、調理及び食用とすることを控えてください。

貝毒検査の結果については、高知県水産業振興課のホームページ (<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040401/2024020500010.html>) をご確認ください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ・ サングイネア	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A 大谷漁港内 (-) 【10:59】	0	16.7	28.8	7.5	49	14
	1	17.0	33.8	7.1	7	2
	底層	2	17.0	34.2	6.3	-
B 野見漁協前 (-) 【11:07】	0	17.0	32.9	7.8	105	5
	1	17.0	32.9	7.8	103	7
	2	17.1	34.0	7.6	-	-
	底層	5	17.1	34.3	7.3	-



A: 大谷漁港内
B: 野見漁協前